

**JSEE** The Japan Society for Economic Education

# ニューズレター 経済教育学会

2023. June. No.39

全国大会案内・・・1-4 メルマガ登録・会員異動・・・4 理事会議事録・・・5-7 KEEA 派遣案内・・・8

2023 年度第 39 回全国大会、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催！



経済教育学会第39回全国大会  
39<sup>th</sup> Annual Conference of the Japan Society  
for Economic Education

—変化する世界へ向けた経済教育—

2023年9月30日(土)、10月1日(日)  
立命館大学びわこ・くさつキャンパス

**2023 年度経済教育学会第 39 回全国大会**  
**2023 年 9 月 30 日（土）、10 月 1 日（日）**  
**立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命 2 1**

**テーマ：「変化する世界へ向けた経済教育」**

コロナ禍で分断される社会、ウクライナ危機とエネルギー問題、世界的に加速するインフレ、そして円安・・・。私たちは今、予測もしなかったような出来事が生じ、それによって大きく変化させられる社会経済を生きています。また、人工知能など、著しい技術革新は、産業構造や労働のあり方をも大きく変革しようとしています。

そのような中であって、経済教育の果たす役割とは何でしょうか。本大会では、変化する世界の動態を踏まえた経済教育と人材育成の在り方について、国際的、地域横断的に、また初等中等教育、高等教育の総合的な観点から再考します。「立命館」とは、『孟子』の尽心章句に由来し、「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味します。激動する現代社会の中で、学生が自らの人生を切り拓く力を育む経済教育とはどうあるべきか、考え、議論する機会を提供できれば幸いです。

企画シンポジウムでは、「経済教育におけるクリエイティビティー」と題して、既存の枠組みにとらわれず、変化する社会を見据えた創造的な経済教育の方向性について、議論を深める予定です。

尚、2023年度全国大会は、オンライン特別分科会を除き、原則として対面開催となります。コロナの3年間で、画面越しでの会議や研究会に慣れてしまった私たちですが、実行委員会では、会員同士が直接顔を突き合わせて議論し、交流する機会を持つことの重要性に鑑み、対面開催としました。京都・滋賀観光を兼ねて、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

第 39 回全国大会実行委員会委員長 徳丸夏歌

**シンポジウムと特別論題分科会について**

**シンポジウム：「経済教育におけるクリエイティビティー」**

大会テーマ「変化する世界へ向けた経済教育」を踏まえ、様々な現代的課題に対し、既存の枠組みにとられない経済教育のあり方について、初等・中等・高等教育において、創造的な教育実践を行っている先生方をパネラーとしてお迎えし、議論を深めていただきます。

市野泰和先生（立命館大学）には、授業中は講義、授業後に課題、という伝統的なやり方を「反転」させ、授業前に動画を視聴し、授業中にクラスメートと話し合いながら課題に取り組む「反転授業」の実践について、その楽しみや喜び、効果をご発表いただきます。

西尾圭一郎先生（大阪公立大学）には、「人生 100 年時代」においてますます重要となる、経済学を専門としない人たちを対象とした金融リテラシー教育について、実務家との連携やデジタル時代を見据えた教育のあり方、小学校における金融教育について、様々な視点からご発表いただきます。

すぐに使える「授業のネタ」シリーズとして、数多くの著作をご執筆されている河原和之先生（大学非常勤、元中学教諭、授業のネタ研究会理事）には、近年の国際秩序において注目を集める「グローバルサウス」の境界線を溶かす国際協力の事例を取り上げた中学生向け授業について、ご発表をいただきます。

**各企画分科会の趣旨**

**1) 「オルタナティブ経済学入門教育と教材開発」分科会**

経済学研究においては、いわゆる新古典派経済学のみならず、ケインズ経済学、マルクス経済学、進化経済学、制度経済学などの諸潮流が存在します。こうした学術的多様性は、異なる視点からの検証や相互批判によって、経済学を深化させ、発展させるために不可欠です。近年は、オルタナティブな経済教育や教材開発が、日本でも活発に行われており、いわゆるミクロ・マクロ経済学についていけなかったり、飽きたらなかつたりする学生たちの好奇心や知識欲を刺激する充実した内容の教材が開発されてきています。本分科会では、こうした背景を踏まえ、経済学の入門教育と教材開発の方向性について、様々な立場の論者からの研究発表と議論を行います。

## 2) 「金融リテラシーの現在」分科会

金融教育が注目を集める昨今、金融リテラシーの調査研究は幅を広げて OECD が提示する金融リテラシー研究に関する基本的枠組み（知識、態度、行動）までも射程に入れて検討する必要があります。本セッションは、こうした問題意識から企画しました。各世代はそれぞれが金融に関わる特有の課題に直面しています。そこで提案者の研究グループはまず、若年者層のうち特に 20 歳代の若者の金融リテラシーと奨学金返還の問題などについての調査研究を実施しました。次に、幼児についても発達段階を考慮しつつ、金融経済認知について実験的な調査を行いました。また、国際比較調査やマクロ経済レベルの金融リテラシーについても興味を持っています。これらの報告や話題提供を糸口に、参加者と金融リテラシーの現在について幅広く討論できることを期待しています。

## 3) 「経済経営教育と英語教育の融合:その実践と課題」分科会

ビジネスや経済活動におけるグローバル化が進展する今日、経済・経営系の大学・大学院における英語教育の重要性が高まっていることは、疑いの余地がありません。一方で、日本人の英語力は OECD 諸国の中で最底辺に属するという残念な事実もあり、経済や経営の知識や技能に加えて、いかに効果的に学生の実践的な英語力・国際コミュニケーション力を上げていくかは、喫緊の課題であるといえます。本分科会では、大学・大学院の経済・経営科目において英語教育・国際化教育を実践されてきた先生方に、その方法や効果、課題についてご発表いただきます。

## 4) 「経済教育における探究型学習と高大接続」分科会

文部科学省の方針により、2022 年度より高等学校において、学生・生徒の主体的な問題設定と調査探究、発表を実施させる探究型学習が開始されました。探究型学習は、刻々と変化し、不確実性の高い今日の社会において、重要となる学びのあり方であると言えます。また、高等学校における探究型学習の経験が、大学の少人数ゼミナール等においても継続されることで、多大な教育効果が期待されます。高等学校における社会科教育、大学における経済教育において、学生・生徒の主体的な意欲や問いを引き出し、効果的な探究型学習を実施するには、どのような教育手法や工夫が必要でしょうか。本分科会では、高等学校、大学における探究型学習と高校と大学が接続し、連動した教育のあり方について、発表と議論をおこないます。

## プログラム (暫定)

**第 1 日 (9 月 30 日・土曜) ※時間は暫定です。**

10:30-12:00 理事会 12:00- 受付

13:00-13:10 会長挨拶 (ホール)

13:10 -15:10 シンポジウム

### ◇ 「経済教育におけるクリエイティビティー」(ホール)

市野泰和(立命館大学)「ひっくりかえして学びは深まる? 一反転授業の実践・悦楽・効果」

西尾圭一郎(大阪公立大学)「経済を専門としない人たちへの金融経済教育:金融化、デジタル化、全年齢を見据えた金融経済教育」

河原和之(元中学教諭/大学非常勤/授業のネタ研究会理事)「グローバルサウスから境界線を溶かす国際協力の授業」

司会: 高橋桂子(実践女子大学)

15:30 -17:30 企画分科会

### ◇ 「オルタナティブ経済教育と教材開発①」(ホール)

松尾匡(立命館大学)、吉田雅明(専修大学)、八木紀一郎(京都大学名誉教授)

### ◇ 「金融リテラシーの現在」(K310)

阿部信太郎(城西国際大学)、高橋桂子(実践女子大学)、猪瀬武則(日本体育大学)、岸香おり(国際基督教大学高等学校(講師))

### ◇ 「経済経営教育と英語教育の融合:その実践と課題」(K309)

ジョン・パラガス・ランビーノ(京都橘大学)、三重遼一(立命館大学他非常勤)、楊文賀(京都橘大学)、稲葉和夫(立命館大学)

18:00- 懇親会

第2日(10月1日・日曜) ※時間は暫定です。

9:30-11:30 企画分科会・一般分科会(自由論題)

◇ 「オルタナティブ経済教育と教材開発②」(ホール)

阿部太郎(名古屋学院大学)、西洋(阪南大学)、藤田真哉(名古屋大学)

◇ 「経済教育における探究型学習と高大接続」(K309)

川合宏之(流通科学大学)、和井田祐司(大阪暁光高校)、橋本貴彦(立命館大学)

11:30-13:00 昼食、会員総会

13:00- 17:20 一般分科会(自由論題)

10月1日(日)は、企画分科会のほか、自由論題の分科会を設けます。奮ってご応募ください。

- 1) 報告の申し込みは、必要事項を経済教育学会のホームページ <https://jsee.ecoedu.jp/> の応募フォームから、報告者氏名・所属(複数の場合は全員)、連絡先(代表者のみ、電子メールアドレス)、報告論題、報告要旨(400字程度)を入力し、7月14日(金曜)までにお送りください。
- 2) 本大会は対面を基本としますが、遠方等で来場が難しい会員に限り、オンライン特別分科会でのオンライン発表を認めます。オンライン分科会は当日、対面会場とネット接続されますが、他の分科会の視聴参加等はできませんので、予めご了承ください。報告申し込み手続きは1)と同じですが、経済教育学会のホームページのオンライン特別セッション応募フォームからお申し込みください。実行委員会は良好な通信環境の整備に努める予定ですが、学内のWi-Fi接続環境等により、当日、通信環境に不具合が生じる可能性がありますので、予めご了承ください。
- 3) 報告の採否は7月下旬に開催される理事会で決定してから、ご連絡します。申し込みが多数にのぼる場合、次の全国大会または春季研究集会でのご報告をお願いする場合があります。
- 4) 報告が採択された方は、報告要旨集の原稿(図表も含めて40字×35行、2ページ以内)を作成し、電子メールの添付ファイルにて、8月20日(日曜)までに、株式会社サルト 経済教育学会担当 E-mail: [jimukyoku@ecoedu.jp](mailto:jimukyoku@ecoedu.jp) までお送りください。これを素材に「報告要旨集」を学会ホームページで公開の予定です。原稿の書式は、経済教育学会のホームページからダウンロードできます。2ページという分量には、図表など一切を含みますので、ご注意ください。お送りする執筆要項に合わせて作成し、ページ番号、ヘッダー、フッター等はいれなくてください。
- 5) 報告応募者は年会費を納入してください。新規に入会される場合には、報告申込時に年会費5,000円(65歳以上のシニアの場合は2,500円、学生・院生の場合2,000円)の納入をお願いします。

#### メルマガの登録のお願い

現在、メルマガの登録状況の確認を進めております。学会入会時にメールアドレスをHPでご入力いただいておりますが、入会と同時に学会のメルマガに登録されるシステムになっておりません。現在、この状況の改善に向けて取り組んでおります。メールアドレスに届いていらっしゃらない方は、学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。左のQRコードより、携帯メールから登録可能です。お手数をおかけしますが何卒よろしくお願い申し上げます。



#### <会員の異動>新入会員 2023年度新規入会会員(ニューズレター第38号以降)

正会員 木下和久(福井県立大学)大塚雅之(大阪府立三国丘高等学校) 真島聖子(愛知教育大学)  
田沼亮人(明石市立錦城中学校) 砂川航大(大阪府立泉陽高等学校) 阿部太郎(名古屋学院大学経済学部)  
宮崎義久(宮城大学) 内原綾(沖縄女子短期大学)  
学生会員 篠崎真美(九州大学芸術工学部芸術工学専攻) 鈴木猛敏(慶應義塾大学経済学部)  
森翔大(愛知教育大学教育学研究科)  
特別会員 河原紀彦(香里ヌヴェール学院) 月岡忠(杉並学院高等学校非常勤講師)

経済教育学会 理事会 議事録

日時：2023年2月19日（土） 15時～、ZOOM

出席者（五十音順、敬称略）：阿部信太郎、岩田年浩、久井田直之、越田年彦、炭谷英一、高橋桂子、土居拓務、裴光雄、水野勝之、宮下春樹、松尾匡、八木紀一郎 委任状（3通）

書記：土居拓務

議長の選出：慣例に従い、水野理事（会長）が担当。

書記の選出：土居理事が担当。

参加者数12名、委任状3名と定足数の過半数を超えていることを確認。

#### 【報告事項】

##### ●学会賞について

久井田理事（事務局長）より数件の応募があった旨の報告、引き続きの推薦者を求める依頼あり。

##### ●学会誌への投稿について

高橋桂子理事より、現時点までに査読2本、論考は20本届いていること、締め切りが明日である旨の報告あり。

##### ●KEEA 春季大会について

水野理事（会長）から、KEEA 春季大会（2023年2月3日）は非参加であったが、前日に韓国経済教育学会の金会長にお会いした旨の報告あり。裴理事からは KEEA 春季大会の概要が KEEA の HP に掲載されている旨の報告と、その翻訳版を後に共有いただけるとの連絡あり。

裴理事より、KEEA 春季大会は韓国の経済系学会が集まりセッション別に大会を開催し、韓国経済教育学会（KEEA）もその一つのセッションであったこと、主催は韓国経済教育学会と韓国金融教育学会であり、全面的な対面開催が実施されたこと、学会後には韓国経済教育学会の次期会長が選出された旨の報告あり。

水野理事（会長）より、国際担当理事を高橋勝也理事が担当する予定だったところ、韓国経済教育学会で日本語のできる金先生が理事を退かれることから、裴理事の継続担当が検討された。その結果、当面は裴理事が連絡係として引き続き担当し、さらなる交流

を深める際には改めて国際担当理事を置く方向で議論を進めた。

岩田理事から今後はアメリカともコンタクトをとる必要があるだろうとの提案があり、水野理事（会長）は具体的な対応は未定としつつも視野に入れる旨を回答した。

#### 【審議事項】

##### ●春季研究集会プログラムについて

阿部理事より報告が2課題しかないためプログラムを変更する必要性から、水野理事（会長）による基調講演もしくは理事によるミニレクチャー（リレートーク）を開催する提案がなされた。これに対して、水野理事（会長）は講演ではなく学会の方向性を考える課題提起（ディスカッション）を行うことを提案した。これまで学会長が講演を行う機会がなかったことが併せて議論され、今後は春季研究集会に学会長が話す機会を作るのもいいのではないかと言う意見などが挙がった。結果として、春季研究集会では水野理事（会長）による課題提起（ディスカッション）と理事によるミニレクチャー（リレートーク）が行われることでの了承された。

当日の司会については宮下理事が2課題とも担当することでの了承された。

##### ●その他

炭谷理事より、今後の大会について、Zoom 併用を基本とするか、対面を基本とするかで、その在り方が提起された。大学によっては Zoom でなく他のツールしか使用できないことや、Wi-Fi を別途レンタルする必要性などが議論された。コロナが明けた今が、学会大会の体制を決める重要なタイミングであることは全体の共通認識になる。

久井田理事（事務局長）より来年度の春季研究集会について提起された。久井田理事（事務局長）は、全国大会は開催地を西、東と交互にする決まりのあることに触れ、春季研究集会は特に決まりはないが対面になると片方の地域の負担が大きいため、交互の地域で開催するのが望ましいと提案した。岩田理事は過去の経緯から、不規則ながらも東と西にわけ、北海道や九州での開催があったことを説明した。水野理事（会長）は、春季は忙しい時期でもあるので、ア

クセス性を重視することを提案した。裴理事は、春季研究集会は全国大会と比べて小規模であるため、候補地を広く募れるのではないかと提案した。議論の結果、次年度の開催地については引き続き検討されることになった。

#### 経済教育学会 春季研究大会 理事会 議事録

日時：2023年3月4日（土）12時～13時  
場所：城西国際大学紀尾井町キャンパス 1号棟1301教室  
議長：水野会長  
書記：越田年彦

出席者（敬称略）：水野勝之、久井田直之、大坂洋、裴光雄、阿部信太郎、徳丸夏歌、宮下春樹、越田年彦（以上対面）岩田年浩、八木紀一郎、土居拓務、松尾匡、金子幹夫、炭谷英一（以上オンライン）委任状3通

#### 報告事項

1 本日の春季研究集会について

阿部信太郎理事：

ようやく3年目にして開催することができた（対面とオンラインの併用により）。

2 その他

久井田直之事務局長：

学会誌の編集委員として報告するが、8本の投稿査読対象論文があり、これから編集作業に入る。

#### 議事次第

1 2023年度予算案について

宮下春樹会計担当理事より説明があった。別紙の予算案参照されたい→原案通りに承認された。

宮下春樹会計担当理事：

決算はこれから審議する。会費の一段の納入を御願いたい。思っていた以上に収入があった。

水野勝之会長：

昨年の明治大学で開催した全国大会において、159672円の支出があったがこれは、光熱費と清掃代であり、教室の賃貸料は含まれていない。

久井田直之事務局長：

会費の減少があるが、これは特別会員の増加に伴う要因が1つあるのではないかと。

大坂洋理事：若い人が入っている傾向があるのではないかと。

2 2024年度春季大会の開催場所について

八木紀一郎理事が引き受けて下さった。

八木紀一郎理事

場所は京都大学の楽友会館。

日時は2024年3月2日 午前10時30分～午後17時30分

3 2023年度全国大会について

開催校の実行委員長である徳丸夏歌理事より説明があった。

徳丸夏歌理事

開催地は立命館大学琵琶湖草津キャンパス

日時は2023年9月30日（土）～10月1日（日）  
統一テーマは「変化の世界に向けた経済教育」

シンポジウムは「経済教育におけるクリエイティブティ」企画セッションを募集している（2月15日～4月15日）一般セッションの応募は4月16日～6月16日。企画セッションは外部の方の参加も可能とするが（原則は会員の発表）、是非とも会員になってもらいたい。

開催形式は対面で行う（オンラインの併用はしない）。その理由として、大学から学会開催補助金が出るため、対面形式でないと説明責任が問われる。

水野勝之会長

企画セッションは立案した人が4人以上を集める。  
裴光雄理事

コロナ禍により人々の足が重くなっているため、集まるかどうか不安がある。

大坂洋理事

開催形式は今回だけで考えるのではなく、長い目で考える必要がある。

炭谷英一理事

参考として、本日の春季大会の出席状況はどれほどであるのか。昨今の状況を考えると人が集まるかどうか懸念される。



水野勝之会長

企画セッションを通じて人を集めたい。

徳丸夏歌理事

懇親会もちゃんと実施したい。

久井田事務局長

本日の春季大会の後も懇親会を行う。全国大会では対面で行うことをアピールしたい。

八木紀一郎理事

オンライン参加者から参加費(例 500 円～1000 円)を徴収するのはどうだろうか。

金子幹夫理事

小中高の教員は自腹で大会に参加している。オンラインの報告の場合、ネット上に情報が漏れる可能性があり、守秘義務が怪しくなる。対面では守秘義務が確保される。

水野勝之会長

昨年の明治大学での全国大会では、オンラインを併用したため、トラブルが多々起こった。新たにオンライン参加費を徴収すると実行委員の手間がかさんでしまう。ハイブリッドで行うとそもそも人が集まらない。

久井田事務局長

中高の教員にとっては、オンラインであると私費の負担がなくなるので発表はしやすくなる。この件で事務局でアンケートをとるのも一案。全国大会では一部屋だけオンラインという方法もある。

徳丸夏歌理事

一部屋だけの案も検討はした。しかし、そちらに発表が集中するおそれがある。今回は対面で御願いたい。中高の教員の発表においては、1 万円の補助金を手当てするのはどうだろうか。

久井田事務局長

この問題(発表する中高教員への補助)は理事会で図る必要があるなど手続きが必要となる。今回は対面で行い、その後の全国大会の開催形態は、今後の課題としたい。

徳丸夏歌理事

改めてではあるが、対面のみで行うことで了承を御願いたい。

水野勝之会長

実行委員長よりこのように提案があったので、その線で進めることにする。その後の全国大会の在り

方や小中高の教員の参加の問題については、今後の課題とする。

#### 4 その他

水野勝之会長

2024 年度の全国大会をどこで開催するか、この件で引き受けてくださる学校を募る。手を挙げてくださる先生は事務局に申し出てください。

大坂洋理事

企画セッションの在り方には、非会員の扱いなど今まで曖昧さがあったので、そのルール作りを行いたい。

学会賞功労賞の人的選定については、理事会推薦を認める規約改正案が理事会で承認されている。今後はその規約改正にもとづいて決めていきたい。、経済教育学会の長年尽力頂いた故森岡孝二先生に水野会長から感謝状を贈る 提案をしたい。

水野勝之会長

森岡先生への感謝状については、先生の業績を記した文書を作成のうえ改めて7月の理事会で提案する。

裴光雄理事

韓国との国際交流については高橋勝也理事だけではなく、私との2人体制で進めていく。

久井田事務局長

学会賞は3月まで受け付ける。全国大会前の理事会を今年の7月に開催する。これはオンラインで実施する。

本理事会以降、理事会内でメールでの審議を行い、全国大会でオンライン特別分科会を設けることとなりました。詳細に関しては本ニューズレターのページ1-4の全国大会案内をご参照ください。

## 韓国経済教育学会 (KEEA)2023 夏季学術大会 の派遣者（発表者）募集

韓国経済教育学会は 2023 KEEA 夏季学術大会  
を下記のように開催します。

- 日時：2023 年 8 月 24 日（木）
- 場所：韓国外国語大学（具体的な建物、会場  
は後日ご案内）※ソウル特別市内です。

夏季学術大会発表原稿を募集します。

経済教育と関連した様々な興味の発表が可能です。  
韓国経済教育学会との協定に従い、経済教育  
学会が派遣者として選出した方は、渡航費は  
私費になりますが、宿泊（最大3泊）に関し  
ては韓国教育学会に準備していただくこと  
になります。学会派遣者は最大2名で、該  
当者なしの場合もあります。

発表をご希望の方は、

①氏名・所属、②韓国経済教育学会で報告する  
テーマ、③報告を希望する理由、④学会からの  
派遣を希望する場合はその旨と、派遣に選ば  
れなかった場合でも私費での発表を希望するかど  
うかを明記、⑤報告内容、⑥発表・討論言語、  
英語あるいは韓国語、のいずれかを明記。

\*日本語からの同時通訳が必要な場合、発表者  
が手配等を行い、その旨を記載すること。学会  
での手配はしない。

\*なお、派遣に選ばれた会員は、まず6月末ま  
でに KEEA へ発表テーマと発表要旨（両方とも  
英文）A4 サイズ1枚を送ることになります。  
派遣者の選定結果も6月末となることから、大  
変申し訳ございませんが、事前に準備しておい  
て下さい。また、韓国での研究報告は必ずフル  
ペーパーの提出が必要です（英語ないし韓国  
語）。KEEA への提出期限は恐らく1ヶ月前く  
らいと思われ得ます。正式な締め切りは後日メ  
ールにてお知らせします。担当者を裴まで提出  
して頂きます。

まずは、以上の①から⑥を A4 用紙1枚以内で  
申請書をワードで作成し、添付ファイルで次の  
アドレスまでお送りください。エントリーの締  
め切りは6/20（火）必着とさせていただきます。

（送り先アドレス [bae@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:bae@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)）

担当：国際交流担当（韓国）理事 裴光雄

### 会費納入のお願い

2023 年度の年会費の納入をなにとぞよろし  
くお願いいたします。前年度(2022 年度)以前の  
会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振  
込用紙に記載されておりますので、ご注意お願  
いいたします。また、特別会員制度により、  
65 歳以上の方は年会費が 2,500 円となります。  
該当する方は学会事務局へのメール  
([jimukyoku@ecoedu.jp](mailto:jimukyoku@ecoedu.jp))もしくは、事務委託先  
株式会社サラトまで御連絡願います。下記の振  
込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号：00920-3-252875

口座名義：経済教育学会

年会費：正会員 5,000 円、学生会員（大学院生  
を含む）2,000 円、65 歳以上の会員 2,500 円  
・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団  
体です。詳細は下記 HP をご確認ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>

学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合が  
あります。

経済教育学会 ニューズレター 第 39 号

2023 年 6 月 15 日発行

発行人 経済教育学会会長 水野勝之

編集人 久井田直之

発行所 日本大学経済学部久井田直之研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2

電子メール (NEW) [jimukyoku@ecoedu.jp](mailto:jimukyoku@ecoedu.jp)

学会費送金先 ゆうちょ銀行

振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 株式会社 エムディーエス

03-5829-4960